

天高く馬肥ゆる秋という言い回しがありますが、その昔、まだ自動車をはじめとした機械が発達していなかった頃、馬は人々の生活を支える大切な生き物でした。旧北国街道が通る野々市地区（現在の布市地区）の歴史をたどると、野々市と馬が密接な関係にあることがわかります。

江戸時代、野々市は北国街道沿いの宿場として、荷物を運ぶために決められた数の馬が備えられました。この馬の数は、寛文6年（1666）の加賀藩領内の中で、津幡、鶴来（白山市）、宮腰（金沢市）に次いで4番目に多く、金沢や松任に馬を送ることもありました。

幕末には馬や牛を売買する牛馬市が野々市で多く開催されました。記録に残る最初の馬市は嘉永7年（1854）6月で、住吉宮（現在の布市神社）の境内で、竹垣で囲った市場を設けて行われました。この牛馬市は初めは年に1回の開催でしたが、その後回数が増加し、慶応4年（1868）には、冬季を除いてほぼ毎月開催



布市神社境内

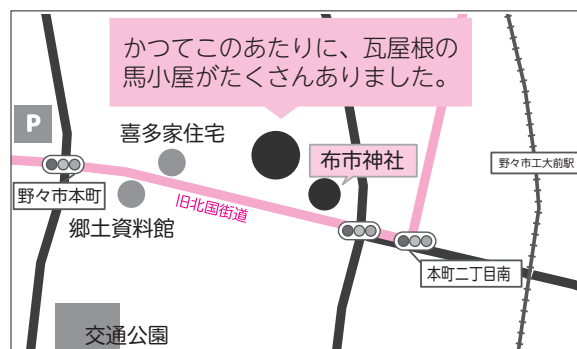
されました。市は大正時代まで続き、幕末からの野々市は牛馬市の町として栄えたのです。

そのにぎわいを示すものとして、明治時代、本町通りにあったお菓子屋さんが当時の野々市の名所を落雁にして販売していましたが、その中に「馬市」の木型が残っています。野々市の人にとって馬はとても身近な動物だったようですね。



菓子屋木型「馬市」
（個人所蔵）

歴史さんぽMAP



今月の表紙

今月の表紙は、カレードの創作スタジオで行われた九谷焼のオリジナルのっティを作るうでの一枚です。九谷焼への絵付け体験ができるこのイベント。体験中はみんな集中して真剣な表情で取り組んでいましたが、塗り終えた子どもたちは笑顔で作品を見せてくれました。絵付け後は窯で焼いて完成です。思い通りに仕上がったかな？



広報写真アルバム
二次元バーコード

D ぼくのわたしの夢 dream

デザイナーになりたい
土屋 結愛さん
野々市小学校3年生



プロサッカー選手になりたい
清田 珀さん
菅原小学校2年生



さあ！ あたらしいステージへ！！



人生100年

シニアの新しい働き方（60歳以上）
野々市市シルバー人材センター
野々市市白山町 8-15（☎294-8303）

詳しくは **野々市市シルバー** で **検索**

高齢者活躍人材確保成事業

石川県シルバー人材センター連合会

くらしの中のお困りごとは、
わたしの執事さんまで！

ハウスクリーニング 草刈り
荷物運搬 防犯カメラ設置
不用品処分 簡単な電気工事
などなど…。お気軽にご相談ください！

☎ 0120-189-422

三谷サービスエンジン

石川県野々市市御経塚3丁目47番地 TEL.076-214-3311

